

大学教務実践研究会 第8回大会

主催：大学教務実践研究会、名古屋大学高等教育研究センター《質保証を担う中核教職員能力開発拠点》

2020年12月19日（土）10:00–16:00 ※9:40接続開始です。

定員 各分科会280名（定員に達し次第、締め切ります）

お申込み <https://peatix.com/event/1683697/view> からお申込み下さい。申込期限：12月11日（金）
※いただいた個人情報は、本企画運営の目的にのみ使用いたします。

参加費 1名につき2,000円（名古屋大学所属の方は無料です） ※支払い方法等詳細は次頁に記載しております。

お問合せ kyoumujissen@gmail.com（大学教務実践研究会）



大学教務実践研究会は、教務の現場における事例を持ち寄り、それを整理した上で実践的な知識まで高めることを目的に活動しています。

第8回となる本大会では、スタッフ・ディベロップメント（SD）の義務化を踏まえ、「質保証を担う中核教職員能力開発」という本研究会の母体となる名古屋大学高等教育研究センターの事業目的に照らし、「教学マネジメント」「教務系職員の能力開発」「教職課程」等をテーマとした4つの分科会を設定し、実践的な知識を共有します。学生が輝く大学・短大・高専づくりに日々取組まれている教職員の方々のご参加をお待ちしております。本年度の大会はZOOMによるオンラインで開催します。オンライン参加が可能であることをご確認の上でお申し込みください。

[オンライン参加の要件等]

カメラ・マイクが利用可能で、高速なインターネットに接続されたPC等が用意できること。
発言等ができる静穏な環境で参加できること。

9:40 分科会1 接続開始

10:00 **分科会1** ※いずれか1つを選択していただきます。詳細は次頁をご参照ください。

1a) 教学マネジメント推進を支える大学職員の役割

1b) 教務系事務組織を点検する ～組織改善のコツを共有する～

12:30 休憩（12:00で一度終了し、12:30までは分科会後の個別質問の場とします）

13:10 分科会2 接続開始

13:30 **分科会2** ※いずれか1つを選択していただきます。詳細は次頁をご参照ください。

2a) 環境の変化に対応できる教務系職員の育成 ～コロナ禍の経験から改めて考える～

2b) 事例で学ぶ教員免許事務（教育課程の変更届）

16:00 **閉会**（15:30で一度終了し、16:00までは分科会後の個別質問の場とします）

分科会1 ※いずれか1つを選択していただきます

1a) 教学マネジメント推進を支える大学職員の役割

担当：辰巳 早苗（学校法人追手門学院）、竹中 喜一（愛媛大学）

教学マネジメント指針が制定され、各大学には到達目標と整合性のある教育課程の編成、これによる学生の育成が強く求められています。この実現には、教学マネジメントを推進するための大学職員の担う役割も取り上げられています。そこで、本分科会では、まず教学マネジメントとカリキュラム編成の原理について理解したうえで、事例をもとにしたワークに取り組んでいただき、各大学での教学マネジメントを実現するための検討・意見交換の機会にしたいと思います。

1b) 教務系事務組織を点検する ～組織改善のコツを共有する～

担当：宮林 常崇（東京都公立大学法人）、別当 大輔（中京大学）

学生や保証人、教職員等から「冷たい」「回答になっていない」「担当者によって言うことが違う」などと言われてしまう教務系事務組織は少なくありません。なぜ、このようなサービスの低下を招くか、そして、これをどのように改善していくかについて、論点整理とグループワークを通じて、それぞれの職場で活かす方法を考えます。また、コロナ禍での様々な対応について情報交換を行うグループワークも設定します。

分科会2 ※いずれか1つを選択していただきます

2a) 環境の変化に対応できる教務系職員の育成 ～コロナ禍の経験から改めて考える～

担当：宮林 常崇（東京都公立大学法人）

話題提供：田頭 吉一（公立大学法人大阪）、竹中 喜一（愛媛大学）

事務室の自席から学生を眺めているだけでは、本当に必要な学生支援はできません。学生を取り巻く環境の変化を察知、課題を顕在化し、関係組織と連携しながら必要な支援を展開していく・・・コロナ禍における教務事務の職場は、まさにこのことが求められました。この分科会では、環境の変化に対応する際、ヒト・モノ・カネの限界を「対応できない理由」にするのではなく、工夫で乗り越えることができる職員を現場でどのように育成するか考えます。参加者それぞれがコロナ禍の状況を振り返ることで、以前から語られてきたこのテーマを改めて考えてみたいと思います。

2b) 事例で学ぶ教員免許事務（教育課程の変更届）

担当：小野 勝士（龍谷大学）

これから年度末にかけて多くの大学で作成する「教育課程の変更届」について、具体的な変更事例を提示しますので、参加者の皆さんにどのように様式に落とし込むかを考えていただきます。その後、教職課程認定基準や課程認定申請の手引きの記述をもとに教育課程の変更届の書き方について解説していきます。

■参加費の支払い方法・キャンセルについて

申し込みサイトにてクレジットカード、コンビニ、ATM払いが可能です

クレジットカード：VISA、MasterCard、JCB、AMEX、PayPal

コンビニ：LAWSON、FamilyMart、サークルK、サンクス、Mini Stop、Daily Yamazaki、Seicomart

ATM：Pay-easy、ゆうちょ銀行、ジャパンネット銀行、楽天銀行、自分銀行

コンビニ/ATM払いの場合は、1件につき220円の手数料が発生します。

キャンセルの方法についてはPeatixの参加者helpサイトを参照の上お手続きください。

コンビニ・ATM払いの場合、返金手数料としてキャンセル1件につき340円の手数料が発生します。